



森 ケイ子 市議
江南団地
TEL 57-2753

平和行政が
一歩前進

平和市長会議への加盟を表明

核廃絶求める署名も—— 江南市長

森ケイ子議員は、5月に国連で開かれる核兵器不拡散条約（NPT）の再検討会議にNGOのメンバーとして参加します。そこで市長に対し、改めて「核兵器のない世界を呼びかけるアピール署名」と、広島市長などが提唱している「平和市長会議」への加盟を提案しました。

平和市長会議へは加盟する方向で検討したいと答弁があり、市長、議長、副議長からも署名が届きました。



江南厚生病院へ早く
定期交通を走らせて

切実な願いに応えよ

森議員は、高齢者世帯が多い松竹住宅、江南団地などの住民から出されている、「厚生病院へ直接乗り入れるバスか、いこまいCARを走らせて」という切実な願いに応えよと、くり返し求めました。しかし市長は「市全体のことを考えなければならない」と相変わらず後ろ向きな答弁でした。

市は、市民全体の足の確保をどうするかを検討も行っていません。2回にわたり陳情書が提出され、老人クラブなどからも要望書が出ている、最も切実で要望の多い地域からまず始めるべきだと、重ねて要求しました。

3人乗り自転車のレンタルを



安全基準を満たす自転車に限り、6歳未満の幼児を対象に3人乗りが認められるようになりました。しかし、この自転車は高額で利用期間も短いため、購入費補助やレンタル方式で支援する自治体が増えています。

江南市でも自転車店の組合などと協力し、3人乗り自転車のレンタルをと提案しました。

助かります

願い実現、また一歩前進

市の新年度予算で、市民要望も強く、これまで日本共産党議員団が予算要望や議会で取り上げてきたものが実現。また一歩前進しました。

- ◎子どもの医療費無料、通院小学3年までに拡大
- ◎精神障がい者医療、1・2級の人の精神疾患以外の医療費を2分の1助成
- ◎学校図書館司書を3人増員
- ◎特別支援学級の支援教員を4人増員、保健室の養護教員4人増員



子どもたちへの
影響が心配です

一挙に保育士5人が退職…民間委託で1年・布袋北保育園

保護者の強い反対を押し切り、指定管理者による運営に変えられた布袋北保育園で、年度末に5人もの保育士が退職。年度途中にも5人の保育士等が退職しています。極めて異常な事態であり、日本共産党議員団は調査を要求しました。

住民無視のまま、新ごみ処理施設をすすめてはならない



現在の焼却施設、江南丹羽環境美化センター

地域住民への十分な説明も了解もないまま、2市2町（江南・犬山・扶桑・大口）の新ごみ処理施設の候補地の検討がすすんでいます。

中般若地区の住民説明会では、当初からの住民無視のすすめ方に強い批判の声が上がりました。草井、般若地区では区役員対象の説明会しか行われていません。

新施設は、現在の各市町のごみに加え、し尿処理場の汚泥や剪定枝まで投入する計画です。これでは減量どころか焼却ごみが増えてしまいます。

減量、資源化すすめコンパクトな施設に見直しを

森議員は、住民合意のないまま進めてはならないこと、住民説明会の開催と合わせ、施設も1カ所集中ではなく、生ごみの堆肥化工場なども検討し、施設のコンパクト化など今の大型施設計画を見直すよう主張しました。

市民負担増・サービス低下も

▲後期高齢者医療の保険料、年3660円値上げ

民主党が公約を破り、廃止を2013年まで先送りした上に負担増を抑える公約も反故にしたため、後期高齢者医療保険料は、愛知県で年一人平均3660円の値上げに。日本共産党議員団は、後期高齢者医療制度の廃止を主張して反対しました。

▲私立高校生への市の授業料助成が廃止に

所得230万円以下の家庭の保護者に対する年額1万円の市助成を廃止。制度存続を求める父母会からの陳情書が出されていました。

▲年金機構に組織変わり、江南での年金相談が廃止

毎週金曜日に地域情報センターで行われていた年金相談は、1回平均50~60人もの市民が利用していましたが、3月で廃止され、一宮年金事務所まで出かけるなければならなくなりました。日本共産党議員団は、年金機構に働きかけ復活するよう強く要望しました。

太陽光発電パネル、固定資産税は免除に

新築家屋だけ税負担は不公平

東よしき議員は3月議会で、太陽光発電パネルへの固定資産税課税について質問しました。

地球温暖化対策として太陽光発電システムの普及促進が叫ばれ、発電パネルを設置する家が増えています。既設の家屋にあとから設置した場合、「税」負担は生じませんが、新築時に設置すると「固定資産税」が課税されます。

例えば、木造の専用住宅で屋根部分の面積割

合が瓦70%、太陽光パネル30%の場合、延べ床面積150㎡ほどの新築住宅では、約11,100円税負担が増えます。H20年中に建築されたものから課税の対象です。

東議員は、太陽光発電普及のため固定資産税の免除制度の実施を要求。検討していくとの答弁でした。



東 よしき 市議
大間町
Tel 54-7977

頻発する 浸水被害

効果的・重点的対策を早く

局所的な集中豪雨などの異常気象、市街化の進展による保水力低下など、様々な要因により市内では浸水被害が頻発。市民から、浸水対策をとにかく急いでほしいと切実な声があがっています。

市は、従来の河川等の対策だけでは浸水を防ぐことが困難だとして、第3次江南市総合治水計画を策定しました。しかし計画期間は「今後おおむね30年間」。重点地区は選定されているものの、具体的な事業着手の順位は明確にされず、多額の費用がかかる小中学校のグラウンドの地下を活用する「雨水貯留施設」が対策の中心となっています。

東議員は、貯留施設にこだわることなく「雨水浸透柵」を一定エリアを決めて設置するなど、効果的・重点的な対策を急ぎ、市民の声に応えるよう要求しました。また、重点対策の概算事業費だけでも51億3,000万円も見込んでいます。財政計画を示すことも必要だと指摘しました。



市発注の事業で ワーキングプアはつくりたくない

公契約条例の制定を

この条例の趣旨は、住民の税金を使う公的事業で利益を得ている企業は、労働者に人間らしい労働環境・賃金を保障すべきであり、発注者の公的機関はそれを確保するための責任を負うというものです。

この間の構造改革の方針の下、指定管理者制度による民間委託が進められています。東議員は、そこで働く労働者の方々の労働条件に市として責任を持つためにも、公契約条例の制定を要求しました。



市政アンケートへのご協力ありがとうございます

引き続き、アンケート実施中です

★ 3月末までにいただいたご意見のうち、道路整備などの生活環境に関するものは、まとめて市担当課に届け対処を求めました。

★ 寄せられた声の一部を掲載させていただきます



昨年末リストラになった息子の職が見つからない。不況の雨、誰がやませしてくれるのでしょうか？ 真剣に職を探している人が全員、正社員に採用されるのが当たり前の中になっしてほしい。(50代・古東地域)

側溝の蓋が重く、高齢化社会で外して掃除することは困難。市の予算で清掃実施を望む。(70代男性・古南地域) …(議員団より)市が対応しています。無理をせず、市役所土木建築課に連絡を。

退職後農作業がしたいが、農業のイロハがわからない。教室でもあるとよい。…(議員団より)市民菜園の利用者を対象に、農業体験実践講座を開催中です。今年度はメ切。詳しくは市役所産業振興課に問い合わせを。

江南市にせっかく立派なフラワーパークができたのに、大きな遊具もバーベキューも出来なくて残念です。

病気の子どもを預かってくれる保育施設を作してほしい。公共交通機関の拡充。いこまいCARだけでは駅も時間も不十分。(30代女性・古北地域)

進む 国営宮田導水路工事 上部利用計画は住民参加で

宮田導水路工事がH21年から始まり、「緑をつぶしてしまっよいか」(アンケート回答)など心配の声がでています。

宮田導水路は新濃尾土地改良事業第2期工事で、総延長9.8km、事業費326億円。H21年度は江南市小脇～宮田にかけ2.23kmの用水路の暗渠化と排水用の側水路工事が行われました。事業費は12億3,700万円で1mあたり554,000円余にもなります。今年は下流の工事、その後上流にかけシールド工法による工事が予定されています。

今年度の市予算に、暗渠化した上部の利用計画を地元住民も参加し作成する費用、235万円が計上されました。

日本共産党議員団は、緑の復元を計画に盛り込むよう要望しました。(上部工事は全額県費で行われる予定です)